



3月11日を忘れない 釜石市からの復興報告

「目標額を大きく上回りました」
東日本大震災で被災した岩手県釜石市は、荒川区の友交流都市です。

津波で被災した釜石市の唐丹小の跡地を整備し、グラウンドとして子どもが使えるように多くの人達のがれきやジャリの撤去をしました。しかし、グラウンドは予算の関係で土盛が足りず、石が出てしまう危険な状態でした。

「あと4Cmの土盛と芝の育成でグラウンド整備を。」

「土芝応援プロジェクト」は、そんな現状を見てきたボランティアバス参加者たちからの「子どもたちが思い切り走ったりすることができるようになりたい」との声から始まり、ました。

目標額は80万円。小さな流れも大



河となります。

遠く離れた釜石市の子どものことを思う優しさが集まり、募金や寄付など寄せられた支援金は目標額を大きく上回る208万円になりました。

もうすぐ、春の訪

れと共にこの支援金でグラウンドに土を加え、芝が植えられます。5月には青々とした芝生のグラウンドが誕生します。

子どもが安心して元気で走り回れます。子どもの元気は、大人を元気にしてくれます。

「復興まちづくりの現在の報告が釜石からあります」

3月7日(土)午後6～8時、サンパール荒川5階第7集会室にて、釜石市の復興状況を釜石市の方から報告して頂きます。

「天災は忘れた頃にやってくる」

東日本大震災から、もうすぐ4年。

月日が経つと被害の恐ろしさを忘れ、当時感じていた用心、備えの気持ちも薄れてしまっているのではないのでしょうか。



被災地は復興が進んでいるとはいえず、まだ支援は必要としています。

ですが、テレビや新聞等報道でしか状況が判りません。

被災された釜石市の現在の様子を聞いて、自分のこととして感じて、災害時の対応をもう一度考えてみませんか。

釜石からの復興報告

日時：3月7日(土)午後6時～8時

会場：サンパール荒川 5階 第7集会室

報告者 和田利男氏(釜石市役所財政課長) 下村恵寿氏(釜石市体育協会 事務局長・釜石市唐丹町花露辺町会長)

定員：100名程度(参加無料)

申込：下記へ電話・FAX・メールにてお申し込みください。先着順。

主催/申込先 荒川区社会福祉協議会 荒川ボランティアセンター

荒川区南千住1-13-20 電話03(3802)3338 FAX03(3802)3831

E-mail: vorasen@arakawa-shakyo.or.jp